

三菱経済圏410兆円! 三大財閥グループの真実

週刊

ダイヤモンド

特集
スルガ、創業家との決別
2トップが独占告白
DIAMOND WEEKLY 2019
定価 710円 7/20

第107巻28号 / 毎週土曜日発行 / 令和元年7月20日発行 / 大正2年5月10日第3種郵便物認可

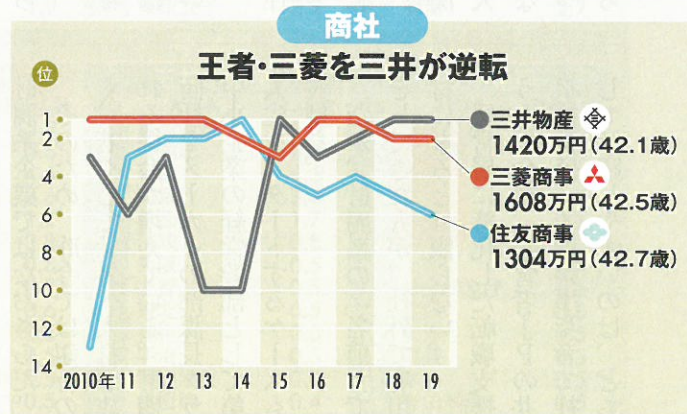
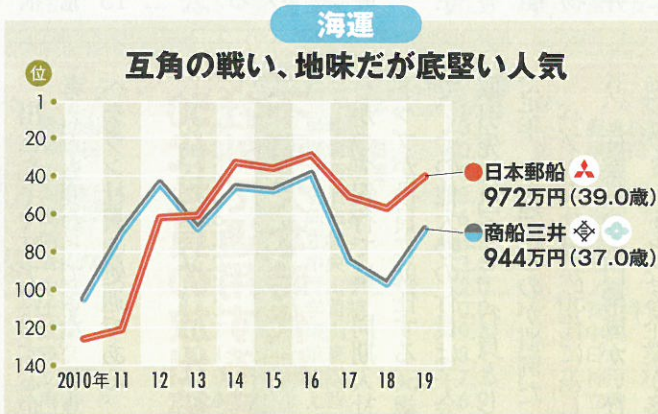
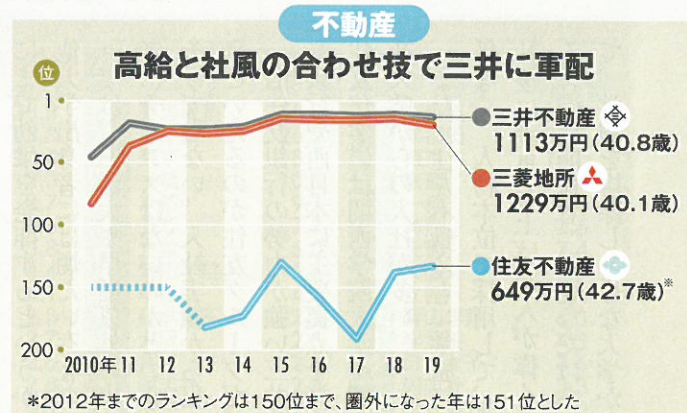
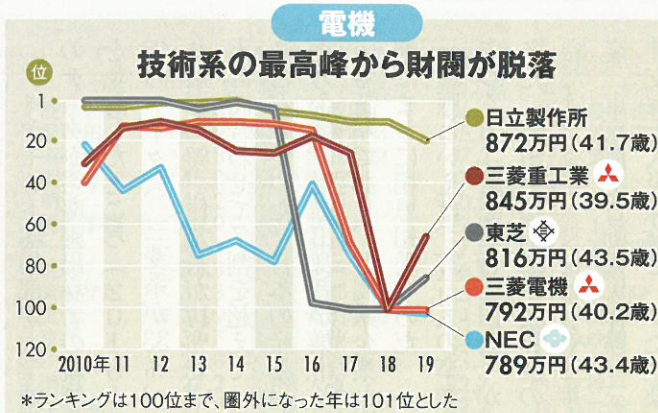
三菱

三井・住友

財閥グループの真実

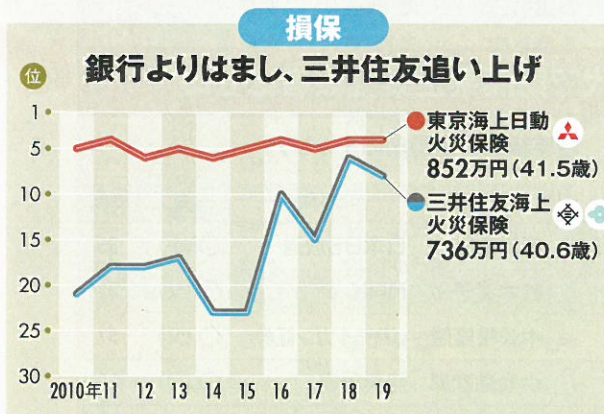
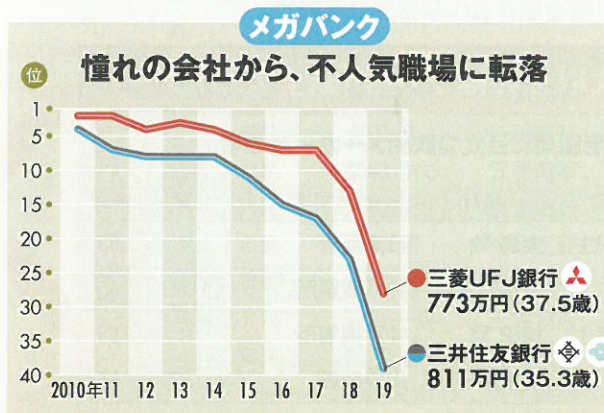
東芝	三井	住友	三菱重工業
JXTG	不動産	商事	住友化学
三越	産	産	商船三井
伊勢丹	産	産	三菱商事
丹	産	産	三井住友銀行
三井UFJ銀行	住友金属	東レ	日本郵船
住友金属	鉾山	ニコン	TBS
			日本板硝子
			明治安田生命

財閥は憧れの会社だが銀行は転落



*電機業界のみ理系男子の順位、それ以外は文系男子の順位。ダイヤモンド・ヒューマンリソースの「就職人気企業ランキング」のデータを基にダイヤモンド編集部作成
*平均年収、平均年齢は2017年度の有価証券報告書による ※住友不動産はビル管理、注文住宅、リフォーム事業を含む5732人の平均給与。三井不動産は1526人、三菱地所は806人の平均

就職学生人気ランキング



●社名 平均年収(平均年齢)

Part 3

因縁のライバル 三つ巴決戦

いつの時代もライバルに恵まれることが成功への鍵を握る。その点、三菱、三井、住友は互いの好敵手としてつばぜり合いを繰り返してきた。三大財閥のヒト、モノ、カネの実力値を業界別に見ていこう。

就職人気、待遇、学閥勢力図に大異変
名門企業にも「安泰」はなし

起業ブームや外資系企業の人気があっても、財閥のブランドは健在だ。しかし、学生からの人気ランキングで銀行が凋落するなど、業界や企業によっては斜陽化しているものもある。

高

給、安定、ネームバリュー——、財閥企業に勤めることのメリットは枚挙にいとまがない。

だが、さすがに財閥系企業に入れば安泰という時代は去った。業界によっては学生から見向きもされなくなりつつある。その典型がかつて人気のあった財閥系のメガバンクだ。

上図を見てほしい。かつて就職学生からの人気ランキングで上位を占めてきた三菱UFJ銀行と三井住友銀行が共に順位を大きく落としている。みずほフィナンシャルグループを含めた3メガバンクの中では、僅差ながら、三菱UFJ銀行が他行の順位を上回ったが、どنگりの背比べ状態だ。

財閥系メガバンクの平均給与は少なくないし、下がっているわけでもないのだが、それでも順位が

下げ止まらないのは、学生が銀行に将来性がないと判断している証拠だ。大リストラのニュースが流れ、低金利の継続と異業種参入で事業環境も厳しくなるばかりなのだから、当然の結果だといえる。

同じ金融でも損保業界は案外、人気を保っている。三井住友海上火災保険が執念の追い上げを見せるが、ここでも三菱系が底力を見せつけた。

逆に、不動産の人気を誇っているのが財閥系の総合商社である。

早ければ30歳で年収が1000万円の大台を超える高給と、他業界より若いうちから仕事を任せられるイメージが高評価につながっている。大規模プロジェクトを差配する経験は、転職しても「つぶしが利く」ことも人気の要因だろう。商社業界でも、急激に投資会社化した三菱商事と、社員自らが事

業をやりがたる浪花節の三井物産では社風は全く違う。それでも、両社が抜きつ抜かれつの首位バトルを展開しているのが興味深い。多くの主要業界において、三菱、三井に比べて住友は劣勢になりがちだ。その傾向が最も顕著なのが不動産業界である。

丸の内や日本橋といった一等地を牛耳る三菱地所や三井不動産が得意エリアを持たない住友不動産に大差をつけた格好だ。住友不動産は後発ながら、三井、三菱に匹敵する収益力があるが、その体育会系の社風が時代にそぐわなくなっているのかもしれない。

ちなみに、有価証券報告書の平均給与では住友不動産の独り負け状態だが、これは三井、三菱が子会社に任せている住宅事業などを本社で行っており、平均給与が押し下げられているためだといえる。

財閥系メーカーの理系人材からの人気低下も明らかになった。理系男子の学生に聞いた人気ランキングによれば、日本の頭脳が非財閥系企業や非製造業に流出しているフシがあるのだ。かつて、理系学生の人気は、日産コンツェルンの流れをくむ日立製作所や三井の東芝、住友のNEC、三菱重工業や三菱電機に集中していた。いずれも電力や通信といった重要イン

フラ、半導体や軍事技術などの最高峰を押さえる重要企業である。ところが近年、経営不振(東芝、NEC)やパワハラ(三菱電機)が頻発したことで、こうした重要企業が上位から消えてしまった。代わりに人気トップに躍り出たのが三菱商事と三井物産だ。製造業もブランドに安住せず、能力に応じた待遇を用意しなければ、その歩を向かれる時代なのである。

財閥に強い慶應 住友は、関西系や日東駒専にチャンス

ここからは49ページの表をベースに、大学出身者別の財閥系企業への入社実績を見ていこう。どの大学閥が財閥系企業で実力を発揮しているのだろうか。

まず、大前提として言えることは、高収入の財閥系企業は狭き門であるということだ。

入社実績を見ても、商社、銀行、損保、不動産などの財閥系企業の上位5位までの出身大学は旧帝大や早慶といった難関大学出身者が占めている。

大学別で、「最強」なのは言わずと知れた慶應義塾大学である。商社や不動産業界の三大財閥企業の全社において入社実績で1位を占

二流、三流大学出身者には高根の花

大学別の財閥企業への就職人数ランキング

銀行				商社				
三菱UFJ銀行		三井住友銀行		三菱商事		住友商事		
順位	大学名	平均人数	順位	大学名	平均人数	順位	大学名	
1	慶應義塾	98.4	1	早稲田	56.5	1	慶應義塾	38.8
2	早稲田	87.9	2	慶應義塾	55.5	2	早稲田	28.8
3	東京	45.8	3	関西学院	47.3	3	東京	24.4
4	同志社	45.0	4	同志社	37.2	4	一橋	12.0
5	明治	43.2	5	関西	30.5	5	京都	8.7
6	関西学院	40.9	6	東京	27.1	6	上智	6.6
7	一橋	40.1	7	明治	27.0	7	青山学院	5.8
8	立教	33.9	8	神戸	26.9	8	立教	4.4
9	青山学院	32.3	9	京都	26.0	9	学習院	4.1
10	上智	30.9	10	青山学院	24.5	10	日本女子	2.8
11	京都	30.7	11	立教	23.4	11	成蹊	2.7
12	中央	29.8	12	立命館	23.1	12	大阪	2.6
13	南山	27.2	13	大阪	22.7	13	神戸	2.6
14	学習院	27.2	14	中央	22.2	14	九州	2.0
15	法政	25.5	15	法政	20.2	15	東京女子	1.9

損害保険				不動産				
東京海上日動火災保険		三井住友海上火災保険		三菱地所		住友不動産		
順位	大学名	平均人数	順位	大学名	平均人数	順位	大学名	
1	慶應義塾	57.6	1	早稲田	40.8	1	慶應義塾	5.9
2	早稲田	46.3	2	慶應義塾	40.5	2	早稲田	4.8
3	立教	22.2	3	関西学院	18.1	3	東京	4.6
4	同志社	21.5	4	明治	18.1	4	一橋	3.6
5	関西学院	19.6	5	同志社	16.5	5	京都	1.2
6	明治	17.3	6	立教	16.3	6	成蹊	0.8
7	青山学院	15.2	7	中央	13.5	7	東北	0.8
8	中央	14.3	8	青山学院	12.0	8	上智	0.7
9	上智	11.3	9	学習院	10.9	9	青山学院	0.6
10	成蹊	10.7	10	南山	9.3	10	中央	0.5
11	東京	10.1	11	東京	8.1	11	日本	0.5
12	立命館	10.0	12	成蹊	7.3	12	神戸	0.5
13	南山	9.6	13	上智	6.9	13	立教	0.5
14	関西	9.5	14	法政	6.8	14	大阪	0.5
15	法政	8.2	15	立命館	6.8	15	明治	0.4

重工業				電機				
三菱重工業		IHI		三菱電機		NEC		
順位	大学名	平均人数	順位	大学名	平均人数	順位	大学名	
1	九州	23.3	1	早稲田	14.2	1	早稲田	41.3
2	早稲田	20.7	2	東京	9.9	2	大阪	31.7
3	東京	19.9	3	慶應義塾	9.3	3	慶應義塾	23.6
4	大阪	16.7	4	東京工業	8.9	4	同志社	20.8
5	東京工業	16.2	5	東京理料	7.3	5	東京工業	18.1
6	京都	16.0	6	大阪	6.6	6	立命館	17.5
7	慶應義塾	15.6	7	東北	6.2	7	京都	16.8
8	東京理料	10.8	8	京都	6.1	8	九州	15.5
9	名古屋	10.4	9	九州	5.7	9	東京理料	15.1
10	神戸	9.7	10	日本	5.0	10	明治	14.3
11	東北	8.8	11	名古屋	4.0	11	東京	13.9
12	広島	8.0	12	明治	3.9	12	神戸	13.4
13	同志社	7.5	13	中央	3.6	13	名古屋	13.3
14	立命館	6.4	14	東海	3.4	14	中央	13.2
15	一橋	6.2	15	立命館	3.3	15	関西	12.9

部材				化学				
AGC(旭硝子)		東レ		三菱ケミカル		住友化学		
順位	大学名	平均人数	順位	大学名	平均人数	順位	大学名	
1	慶應義塾	9.2	1	京都	10.2	1	早稲田	6.8
2	早稲田	9.2	2	早稲田	9.5	2	慶應義塾	6.7
3	東京	7.8	3	東京	8.8	3	東京工業	5.7
4	東京工業	6.9	4	慶應義塾	8.5	4	九州	4.8
5	京都	5.6	5	大阪	7.8	5	大阪	4.3
6	東北	5.4	6	東京工業	7.6	6	東京理料	3.9
7	九州	3.8	7	東京理料	5.1	7	同志社	3.9
8	大阪	3.0	8	同志社	4.8	8	京都	3.4
9	同志社	3.0	9	一橋	4.8	9	東京	3.3
10	北海道	2.8	10	神戸	4.1	10	東北	3.2
11	東京理料	2.5	11	名古屋	4.1	11	北海道	2.7
12	一橋	2.4	12	九州	4.1	12	同志社	2.5
13	神戸	1.9	13	東北	4.1	13	関西学院	2.1
14	名古屋	1.9	14	関西学院	2.6	14	広島	1.6
15	関西学院	1.5	15	上智	1.9	15	名古屋	1.3

*大学通信の調査による各大学発表の企業別就職者数を基に、累積入社人数を年数で除し、平均人数を算出した。小数第2位以下を考慮しているため平均人数が同じでも順位が異なる場合がある。全ての大学・企業で同じ年数のデータがあるわけではない。年度、企業によって内定者やグループ企業を含む。合併や組織変更をした企業は、2018年集計時の企業グループにまとめて集計した

める独走ぶりだ。ダイヤモンド編集部が大学通信のデータから慶應出身者の就職先を集計したところ(2013~15年のデータ)、三菱系が33%、三井系が24%、住友系が17%で、三井大財閥合わせて7割を超えていることが分かった。日本の産業界の主力企業に慶應出身者が集中している証左であり、財閥系企業と慶應はまさに相思相愛なのだ。

慶應といえば、37万人の卒業生でつくる「慶應連合三田会」が有名だ。三田会は地域や業界別の組織だけでなく、三菱商事や三井物産、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険といった企業ごとにもあり、入社後の出世レースにまで効果を発揮するというから、他大学出身者には煙たい存在だ。

では、旧帝大や早慶以外の出身者にチャンスはないのかといえば、そうでもない。入社実績から狙い目といえるのが住友グループだ。旧住友銀行の勢力が強い三井住友銀行や西日本に主要拠点を置く住友化学には関西学院大学や同志社大学からの入社が多い。

また、住友不動産も「学歴に関係なく、人物本位で採用して、入社後に成果を上げた人が偉くなる」(同社関係者)というだけあって、学閥を排除し多様な大学から

採用実績がある。出世やキャリアに対する企業の考え方も変わってきた。とりわけ、ベテラン社員の処遇である。

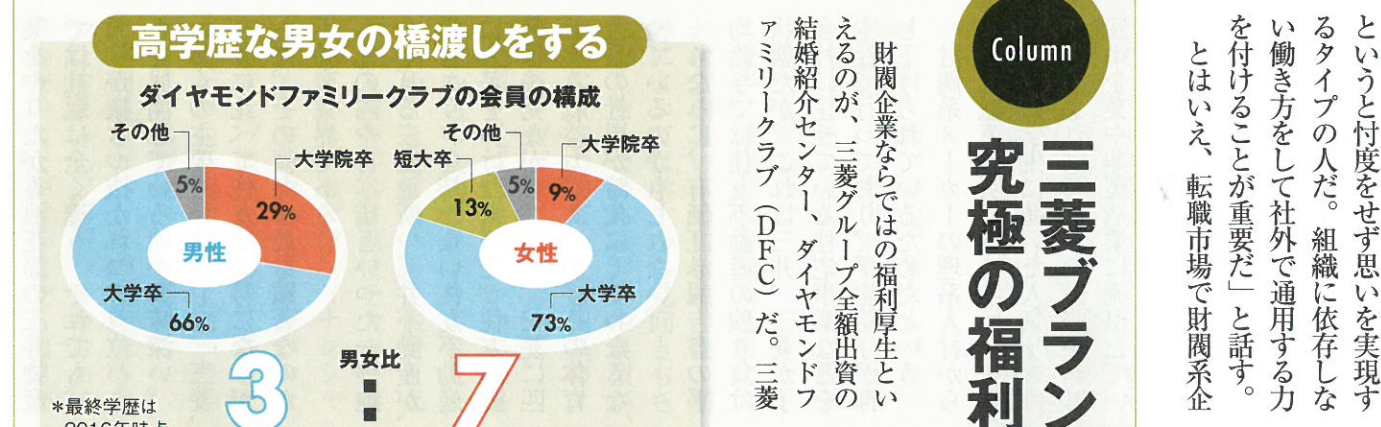
かつて銀行では、同期入社組のトップが役員に就任する50歳前後で、その他大勢の行員は子会社や取引先に向かい、行員としての「定年」を迎えるのが慣例だった。バブル入社組が50代に差し掛かり、従業員の人構成がいびつな逆ピラミッドとなる企業が多い。長期雇用を前提とする傾向が強い財閥系企業ではなおさらだ。

そのため、昨今では銀行のごとく、若くして社外へ人材が放出される機会が増えている。財閥系の商社やメーカーの部長クラスが、中小企業の経営幹部として第二の人生をスタートするケースもその典型だ。

だが、財閥系の「名前」で仕事をし、社外で有用な人材に「限らない」。

経営層に特化した転職支援を行う人材会社、経営者J.Pの井上和幸社長は「大企業出身者で社長として活躍しやすいのは、どちらか

50代社員の放出続く 社外で通用する実力 不可欠な時代に



三菱ブランドで安心の婚活 究極の福利厚生サービス

という付度をせず思いを実現するタイプの人だ。組織に依存しない働き方をして社外で通用する力を付けることが重要だ」と話す。

とはいえ、転職市場で財閥系企業

業のネームバリューが通用するのも事実。企業年金も充実している。経済的にも安心して次の一歩を踏み出せる。財閥系企業のみはこんなところにもありそうだ。

グループ社員は「最近も45歳の同僚がDFCでゴールインした。その実力は侮れない」と太鼓判を押す。

マッチング力の秘訣は会員の「質」と「量」にある。三菱グループはもちろん、トヨタ自動車やNTTグループといった業界トップの社員にも会員資格を与えてDFCのブランド力を上げつつ、会員数を担保することで成約率を高めている。会員のプロフィールでは、男女共に大学卒、大学院卒の高学歴者が多く、質の維持へのこだわりもうかがえる。

三菱グループが財政支援をしているため格安で利用できるのもメリットだ。登録者の自己負担は原則、入会金の8万円と成約時の謝礼金6万円だけ。他の民間サービスに比べて超割安だ。合コンやSNSなど出会いの場は数あれど、こと婚活に関しては、財閥ブランドの威光は色あせていないようだ。